

確かな学力向上推進プラン

令和2年2月17日現在  
江戸川区立小岩第二中学校

学力向上に向けた目標値

成果指標：都学力調査の到達目標値（教科書の練習レベル）を超える割合 ※都学力調査 A 層の割合

教科	平成30年度 結果	平成31年度 目標値	平成31年度 結果	平成32年度 目標値	平成32年度 結果	平成33年度 目標値	平成33年度 結果	平成34年度 目標値	平成34年度 結果
国語	21問以上 23%	25%	21問 22%	25%	問 %	問 %	問 %	問 %	問 %
社会	21問以上 23%	25%	18問 22%	25%	問 %	問 %	問 %	問 %	問 %
数学	20問以上 17%	20%	16問 21%	23%	問 %	問 %	問 %	問 %	問 %
理科	17問以上 16%	18%	15問 29%	29%	問 %	問 %	問 %	問 %	問 %
英語	18問以上 14%	16%	17問 35%	35%	問 %	問 %	問 %	問 %	問 %

学力向上に向けた取組				
論点	第1学年	第2学年	第3学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・計算・英単語などの小テストの実施</li> <li>補習教室（国・数・英・社・理）の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・計算・英単語などの小テストの実施</li> <li>補習教室（国・数・英・社・理）の実施</li> <li>受験講座（年12回）の実施（希望者）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・計算・英単語などの小テストの実施</li> <li>補習教室（国・数・英・社・理）の実施</li> <li>受験講座（年12回）の実施（希望者）</li> </ul>	
論点2 学習規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの書き方指導の徹底（各教科）</li> <li>チャイム始業の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの書き方指導の徹底（各教科）</li> <li>チャイム始業の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの書き方指導の徹底（各教科）</li> <li>チャイム始業の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の規則を守っていますか。 （全国学力調査 2(13)） 肯定的な回答 90%以上目標 R1 92.3%</li> </ul>
論点3 生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活記録ノートの活用（担任による日記チェック）</li> <li>定期考査2週間前より学習計画表の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活記録ノートの活用（担任による日記チェック）</li> <li>定期考査2週間前より学習計画表の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活記録ノートの活用（担任による日記チェック）</li> <li>定期考査2週間前より学習計画表の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日同じくらいの時間に起きて寝ている。 （全国学力調査 1(1,2)）肯定的な回答 90%以上目標 R1 84.3%</li> </ul>
論点4 家庭学習の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習ノートの実施（1日ノート1ページ以上）</li> <li>Eラーニングの奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習ノートの実施（1日ノート1ページ以上）</li> <li>Eラーニングの奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習ノートの実施（1日ノート1ページ以上）</li> <li>Eラーニングの奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。 （全国学力調査 3(17)） 肯定的な回答 45%以上目標 R1 40.6%</li> </ul>
論点5 言語に関する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科で弁論大会の実施（各学年）</li> <li>読書科で「おすすめ本」の1分間スピーチ（各クラス）、クラス代表による学年スピーチ</li> <li>専門委員の発表指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科で弁論大会の実施（各学年）</li> <li>読書科で「おすすめ本」の1分間スピーチ（各クラス）</li> <li>専門委員の発表指導</li> <li>学年行事の事後学習の発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科で弁論大会の実施（各学年）</li> <li>読書科で「おすすめ本」の1分間スピーチ（各クラス）</li> <li>専門委員の発表指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2年生の時に受けた授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。（全国学力調査 7(38)） 肯定的な回答 40%以上目標 R1 65.1%</li> </ul>
論点6 教員の学習指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中連携による授業改善</li> <li>生徒による授業評価の実施</li> <li>校内研修や区、都の研修による授業改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中連携による授業改善</li> <li>生徒による授業評価の実施</li> <li>校内研修や区、都の研修による授業改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中連携による授業改善</li> <li>生徒による授業評価の実施</li> <li>校内研修や区、都の研修による授業改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価 授業の満足度 肯定的な回答 85%以上目標 R1 86.5%</li> </ul>

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点		
	第1学年	第2学年	第3学年
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や学校など様々な場所での読書、新聞やテレビのニュースの視聴を奨励する一方、家族を含む地域社会での年長者との積極的な会話などを通して語彙を増やす活動を行う。小学校で既習した漢字や中学校の新出漢字を日常生活で活用するよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き語彙を増やす活動を行いながら、作文や小論文の作成やスピーチ活動を通して、身につけた語句を活用できるように指導する。俳句や短歌の指導を通して自ら古典に親しめるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校で学ぶ漢字の小テストを繰り返し行い、定着をはかる。またグループディスカッションを積極的に行うことで、適切な語句が活用できるよう指導していく。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの取り方、グラフ等各種資料の読み取り方、地図帳の引き方など、社会科を学習する上での基本的な技能を身に付けさせる。また、都道府県名や歴史の元号など、基礎基本的な知識を、小テストを実施するなどして身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年で身に付けさせた技能をもとに、工夫したノートの取り方や、グラフの作成など、社会科を学習する上での応用的な技能を身に付けさせる。また、都道府県名に加えて世界の国名など、引き続き基礎基本的な知識を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年～第2学年で身に付けさせた技能や知識をもとに、公民的分野において、現代社会の諸事象に対して深く考察をさせたり、レポートにまとめさせたりする。また、問題演習や小テストを繰り返し、学力の向上を図る。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別にクラス分けを行い、生徒に合わせた進度で授業を行う。また、単元ごとにテストを実施し基礎基本的な知識を身につけさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別少人数授業のため、目標の設定を変えることで意欲を持たせる。また、毎時間計算ドリルに取組ませることで計算に対する自信を持たせ、授業に参加させていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算や方程式のような解き方がパターン化したものを解く「技能」は反復学習で定着している。学力調査で正答率が低かった知識分野も繰り返し学習することで定着を図る。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元において、実験・観察を実施することにより、生徒の知的好奇心や探求心を育み、科学的な思考力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験・観察の結果をもとに、話し合い活動によって考察を深め、科学的に表現することで、科学的な思考力と表現力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動を通じて思考力を向上させ、さらに表やグラフを用いて説明する論理的な考察の充実を図る。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽への興味関心を引き出すために教材を精選する。表現活動を通し、自己を開き、他者と積極的に交わる態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自国、他国の音楽を積極的に鑑賞し、音楽の普遍的な美しさを感じる心を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯にわたって音楽に親しめるよう、様々な国、形態の音楽に触れ、自分自身の表現活動を高める姿勢を養う。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の発想について他者に伝え、また作品を鑑賞して感想を伝えるなど言語活動を多く取り入れ、互いに学びあう時間を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な環境に目をむけ、地域や校内といった自分をとりまく環境をより美しく整えるための発想を深め、作品につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己がこれまで培ってきたもの、これからの未来を見つめさせ、時間をかけて発想を練り、自分のあるべき姿を深く表現させる。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の特性や効果を分析し、これらを身に付けることが期待できる主運動を設定する。主運動の時間を多く取り入れる。</li> <li>各単元に応じた動きや体力が身に付くように、主運動につながる補助運動を毎時間5分程度取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能や体力向上のため、各単元における主運動や補助運動を多く取り入れる。</li> <li>学び合いや球技での作戦タイムなど生徒同士のコミュニケーションの場を多く設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動量を確保しつつ、自分たちで目標や課題を設定し、練習計画を立てたり、ゲームができるようにしたりできるようにする。</li> <li>タブレットなどのICTを取り入れるなど仲間同士が運動をする場面を見合う場面を設定する。</li> </ul>
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容を社会で活かすための計画を考えさせたり話し合いをさせたりすることで、基礎的な技術を活用しようとする意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活におけるさまざまな問題を自分のものとして捉え、基礎的な技術を身に付け、進んで活用しようとする意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識を身につける意欲を高めるために、その知識が生活や社会にどのように役立つかを示すことを重視する。</li> </ul>
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中でペアワークを活用し、コミュニケーションに対する意欲の向上を図る。</li> <li>教科書などの音読を大切にし、英語を意欲的に読む生徒を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単語テスト、英作文テストなどをこまめに行い、語彙力、文法力の定着、向上を図る。</li> <li>2文以上で質問に答えられる対応力を育てる。</li> <li>3文以上の英文が書ける作文力を付ける。</li> <li>スピーチやプレゼンテーションを通して表現力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとまった英文を読み、内容をつかむ力を付ける。</li> <li>5文程度の英文が書ける作文力を付ける。</li> <li>スピーチや、人・物・場所などを英語で紹介するプレゼンテーションなどの活動を通して、表現力を高める。</li> </ul>